

わた ばたけ
綿畑

わた さいばい
—綿の栽培—

5月 種まき・発芽

6月頃 殺虫・成長

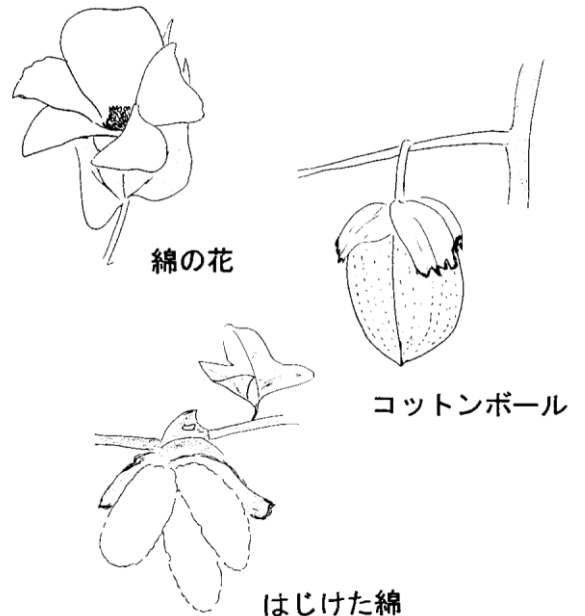
8月頃 摘芯・開花

9月頃 コットンボール

10月頃 はじける・収穫

●綿の成長と特徴

綿は、アオイ科の1年生植物。5月上旬前後に種をまき、7～8月に黄色の花が咲く。9～10月頃に青い実が大きくなり（これをコットンボールという）、やがてはじめて白い繊維が出る。はじけた綿の中には、種が20～30粒ほど入っており、種から伸びた繊維は、扁平状でよじれている。この自然のねじれ（天然の”より”）があるため、糸に紡ぐとしっかりと絡み合う。



●栽培している綿の種類

- ・和綿…コットンボールは下を向いてはじけ、繊維は太くて短い。
- ・米綿…コットンボールは上を向いてはじけ、繊維は和綿よりも細くて長い。
- ・茶綿…和綿の一種で、繊維が茶色。

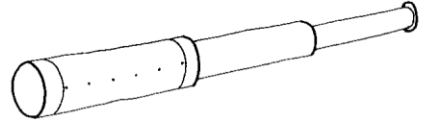
●綿の栽培について

当館では、毎年綿の栽培を行っている。収穫した綿は、当館で開催している「織りの技術伝承講座」で、綿繰りや糸紡ぎなどに利用している。

※綿の種……テーマ展示 I 「知多木綿」では、収穫した綿の種を配布しています。
ふっくらとした綿を自分の手で育ててみませんか。

おく がい ぞう けい ぶつ
屋外造形物

ぼう けん たい しょう ぶつ と お め が ね
—望見対象物— (遠眼鏡コーナー)



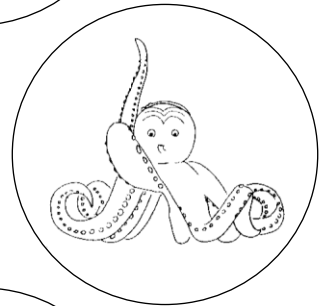
こ み に わ と り ま つ
●古見の鶏松

古見の御嶽神社境内にあった松。枝ぶりが鶏の形に見えたことから鶏松と呼ばれ、航海や漁をする人たちの目印として役立った。



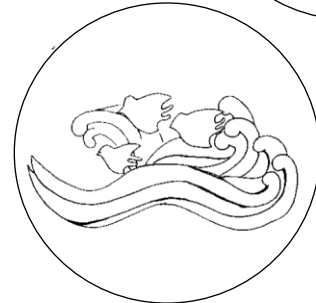
お お
●大タコ ターちゃん

埋立て前までの知多の海辺では、春の潮干狩り、夏の海水浴、秋の魚釣りなど、多くの人々で賑わった。ターちゃんは、長浦海水浴場にあったもので、昭和2年に造られた。コンクリート製の大タコは、海水浴場のシンボルであり、子どもたちの人気の的であった。



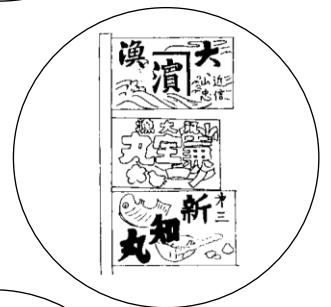
な み ち どり
●波と千鳥

海鳥は、水面近くに集まる魚を餌としている。魚群探知機などがなかった時代には、海鳥が魚群のありかを示すことで、それを利用した漁も行われた。



たい り ょ う ぼ た
●大漁旗

陸の人々に大漁を知らせるため、船に掲げた旗。また、新造船の進水を祝って贈られたりしたもので、船名や寄贈者、大漁などの文字が染め抜かれている。



く じ ら の し っ ぽ
●クジラのしっぽ

海にすむ大型動物の鯨は、肉は食用となり、脂肪、皮、骨やひげに至るまで余すところなく利用された。明治時代に書かれた「修学旅行日記」には、四日市から大野へ船で帰る際、鯨が遊泳して時々潮を吹き上げている様子が記されている。

